

問1 島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の良質な銀を生産したことで知られ、2007年にはその歴史的価値が認められて世界文化遺産に登録された鉱山を選んでください。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 石見銀山 2. 佐渡金山 3. 生野銀山 4. 足尾銅山

問2 1543年に種子島へ伝来した鉄砲が、戦国時代の日本において急速に普及し、合戦のあり方を大きく変えた主な要因として正しいものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 堺や国友などの都市の職人が高い技術を用いて、鉄砲の国内生産を可能にしたため 2. ポルトガル人から輸入するのみに、国内の需要をすべてまかなうことができたため 3. 室町幕府が鉄砲の製造を独占し、全国の大名に無償で配布したため 4. キリスト教の布教を許可した大名に対してのみ、スペインが鉄砲を贈呈したため

問3 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。（2017年 京都公立入試 類似）

1. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため 2. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため 3. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めたため 4. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めているため

問4 室町時代後期から戦国時代にかけて、幕府の権威が衰える中で、各地の戦国大名が自分の領国内を統治し、家臣団を統制するために独自に制定した法律の総称を何といいますか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 分国法 2. 武家諸法度 3. 御成敗式目 4. 公事方御定書

問5 石見銀山では16世紀前半に「灰吹法」という新しい精錬技術が導入されたことで、銀の生産量が飛躍的に増大しました。この銀が当時の社会や国際情勢に与えた影響についての説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 島根公立入試 類似）

1. 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるようになった。 2. 生産された銀はすべて国内の寺院や仏像の装飾に費やされ、戦国大名の信仰心を深める役割を果たした。 3. 銀は貴重な軍事機密として厳重に管理され、江戸幕府が成立するまで海外の商人と取引されることはなかった。 4. 銀の増産によって日本独自の通貨制度が完成し、中国から輸入されていた銅銭は一切使われなくなった。

問6 室町時代後期から戦国時代にかけて、実力のある者が上位の者を打ち倒す「下剋上」の風潮が広がる中、各地の戦国大名は自らの力で領国を統治する必要がありました。このように、戦国大名が領国内の家臣や民衆の行動を規制し、支配を維持するために独自に定めた法を何といいますか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 分国法 2. 武家諸法度 3. 公事方御定書 4. 御成敗式目

問7 戦国時代の都市についてまとめられた資料において、「有力な商人による自治的な運営が行われていたこと」「種子島に伝来した鉄砲の主要な生産拠点となったこと」「千利休などの商人がわび茶の文化を完成させたこと」という3つの特徴を持つ、現在の大阪府に位置する港町はどこですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. 堺 2. 博多 3. 長崎 4. 平戸

問8 「甲州法度之次第」と呼ばれる分国法を制定し、領国内の統治を強化した戦国大名は誰か。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 織田信長 2. 上杉謙信 3. 足利義満 4. 武田信玄

問9 大友宗麟をはじめとする有力な戦国大名が、キリスト教を保護し、自らも入信した背景として、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 京都公立入試 類似）

1. 南蛮貿易による利益を得るとともに、軍事的に有利な鉄砲や火薬などの輸入を円滑に進めるため 2. キリスト教の教えを広めることで、反抗的な一向一揆などの仏教勢力を抑え込むため 3. 室町幕府の将軍から、キリスト教を保護することを条件に領地の支配権を認められたため 4. ヨーロッパ諸国の軍隊を日本に呼び寄せ、国内の戦乱を武力で平定させるため